

## 平成30年度 第2回運営委員会 研修会報告

日時：平成30年12月9日（日）14時10分～15時30分

場所：西部地域福祉センター 出席人数：29名

### 研修会報告

テーマ：「ミテ・ハナソウ」を体験しよう！

講師：佐倉市立美術館 永山 智子 様、ミテ・ハナさん（8名）

#### 「ミテ・ハナソウ」とは…

作品を見てお話しをしながら作品を鑑賞しようという、対話型美術鑑賞のことです。少人数で、一人一人が感じたり考えたりしたことを話しながら鑑賞します。1980年代に「MOMA」（ニューヨーク近代美術館）で始まりました。

「ミテ・ハナソウ」には正解、不正解はありません。現在では、考え続ける力を培う等、鑑賞するだけではなく様々な事に応用されています。

- 1 グループ4～5人で6グループに分かれてアートカードを使用して体験。  
ミテ・ハナさん（ファシリテーター）…各グループ1名  
☆一絵一問…1枚絵（カード）をひいて、質問カードをひいて答えていく。  
☆神経衰弱…3枚絵（カード）をひいて2枚の共通点を言って、みんなで「納得」できるかできないかを判定する。（納得できない人の意見も尊重。）  
☆自分を表しているカードを1枚選ぶ
- 各グループで感想を話し合い、グループ毎に発表。

#### 〈質疑応答〉

★小学校で行うミテ・ハナソウはどのようなプログラムですか？

——事前学習として学校で50分+美術館で約1時間半行います。

対話型鑑賞と個人鑑賞を繰り返すことで複雑な問題を解こうとする時に効果があるとも言われています。

#### 講師より

- 大人の人がミテ・ハナソウをすると、絵に対する考えが、いきなり深いところに話しが及ぶということに驚きました。
- 「絵の見方を教えてもらった」という感想がありましたが、そのような意図は全くなく、みなさんが勝手（自然）に見方を学んだのではないのでしょうか。
- 「美術館の敷居が低くなった」「佐倉市美術館の所蔵作品が多いことにビックリした」という嬉しい感想が聞けてうれしいです。
- 「作品の名前が知りたい」と作者の意図やオチを求める方と、「作品の名前がわからないからいい」という方がいらっしゃいました。このミテ・ハナソウには、「答え」がありません。

#### ○参加者の感想（アンケートより抜粋）

- ・おもしろかったです。人と違った見方を知るのも楽しいし、人が共感してくれるのもうれしい。広がっていけばいいと思うプログラムでした。
- ・様々な研修会がありますが、今日のような「ミテ・ハナソウ」研修は年齢、世代関係ないですね。「人間らしい個性」が見られますね。聞かれますね。ありがとうございました。
- ・大好きな絵（見るのも、作品を作るのも）でこんなに楽しい心と脳トレになる遊びがあったとは！
- ・ミテ・ハナソウカイという対話型鑑賞という言葉も初めて聞きました。作品の題名（タイトル）がなかったので自由に発想することができ、他の人の感じ方も知ることができて楽しかったです。ありがとうございました。
- ・友達を誘って「絵」を見に行きたくなりました。ミテ・ハナ会に参加したいです。絵は難しいと思っていましたが近くなりました。